

川根本町小学5年生 県外体験学習 in 北海道



私が一番心に残ったのは、大倉山展望台から見た景色です。紅葉もきれいで、札幌市全体も見えました。川根本町と比べてみると、とても寒かったです。3日間の体験で、北海道のことをたくさん知ることができ、いい経験になりました。

本川根小学校 山内 美琴

私は箱根牧場で牛のブラッシングをしたことが、一番心に残りました。最初は牛に触るのが少し怖かったけれど、ブラシをかけているうちに牛のことをかわいく思えました。命を感じることができてうれしかったです。

中川根第一小学校 梶川 凜



ずうっと向こうまで牧草、牛、牛、牛。僕はびっくりの連続でした。初めて触った牛は、ブラシでかいっぱいこすると、気持ちよさそうにしていたので、うれしくなりました。初めての体験がたくさんの北海道は楽しかったです。

中央小学校 板谷 知卓



僕が心に残っていることは、箱根牧場で牛の世話をしたことです。牛は大きくて驚いたけれど、おとなしかったです。ブラッシングは楽しくて、牛が好きになりました。酪農という仕事は大変だなということもわかりました。

中川根南部小学校 西澤 涼太



心に刻み込まれた 北海道での体験



中央小学校 校長 山下 斉

「は、速い」。加速がつく飛行機。「あっ、浮いた」。離陸直後の機内では、どの子からもこれから始まる北海道体験学習への期待と弾むような高揚感が伝わってきました。真っ白な雲の切れ間から見えた透き通った青空と眼下の雄大な景色。大倉山ジャンプ台の転げ落ちてしまいそうな急斜面の迫力。箱根牧場で初めて間近で見た牛の大きさ。恐る恐る触ってみて肌で感じた牛の体温や皮膚の弾力感など、その時その場所でのしか味わうことのできない貴重な体験を重ねるたびに、子どもたちは心をふるわせ感じたことを素直に表現していきました。

今回、北海道で体験したことは原体験となつて子どもたちの純粋な心に刻み込まれ、これからの人生を左右していくものになるのかもしれない。よりいっそう充実した体験学習になるよう、常に子ども目線に立つて準備を丁寧に進めてくださった町教育委員会社会教育課の皆様をはじめ、御支援いただいた町当局や関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



「北の大地」で体験し学んだ3日間

社会教育の一環として開催され今回で17回目を迎えた本事業は、団体生活の体験による社会性・自立心の形成や、地域産業および風土への理解を深め郷土愛を育むことなどを目的としています。昨年からは研修地を北海道とし、現地ならではの歴史や文化を学び、今後の学習や生活に役立てることも目標としました。

参加した町内4小学校の5年生23名のうち、多くの児童にとっては初めての飛行機搭乗やホテルでの宿泊。楽しさの反面、少し不安な気持ちを抱え、出発しました。初日は大倉山展望台を訪れ、ジャンプ競技会場の見学やウインタースポーツの疑似体験をしました。2日目は箱根牧場でチーズ作りやバター作り体験や、牛のブラッシングなどの酪農体験をし、北海道名物のジンギスカンを食べました。また北海道博物館では、開拓の歴史やアイヌ文化に触れました。最終日は「白い恋人パーク」にて、銘菓「白い恋人」作りを体験しました。2泊3日という短い期間でしたが、現地ならではの景色や文化、気候などを五感で感じることで、児童たちにとって内容の濃い体験学習になったようです。この3日間で学んだことを、今後の学習や生活に役立ててくれることとしましょう。